



浦幌町と友好の町絆協定締結
(岩手県)

洋野町だより

パークゴルフ大会の参加者たち



大野パークゴルフ場

自然の魅力あふれるおのキャンパス内にある大野パークゴルフ場は、平成3年に浦幌町からパークゴルフが伝わったことがきっかけで設立され、徐々に地域に愛好者が増え、現在では本州最大規模を誇る11コース99ホールのパークゴルフ場となりました。

2016年に開催される「希望郷いわて国体」のデモンストレーションスポーツの会場にも指定されており、今後ますます賑わうことが期待されます。

毎年6月には、同ゴルフ場で、パークゴルフの全国大会「りんどうカップ」が開催されています。同大会は、全国の愛好者との交流促進と地域情報の発信や、コミュニティスポーツであるパークゴルフの一層の普及を目的に開催され、昨年は北海道や富山県など全国から約260人の愛好者が参加しています。

本州最大級の大野パークゴルフ場で、パークゴルフを楽しんでみませんか。

(高橋悦子)

■サイロの税金について

お問い合わせがあります。他町村の場合、どのようなかわかりませんが、車であちこち回ってますと、使用されていないサイロの屋根がはがされたりしてのを見るとき、この素晴らしい十勝の農村風景が失われ、とつても淋しく悲しくなります。



まちづくり政策課広報広聴係
TEL:576-2112/ FAX:576-2519
Eメール: mati@urahoro.jp
ホームページ: http://www.urahoro.jp/

■お答えします

固定資産税における家屋か否かの判断については、不動産登記規則に定められている、屋根及び周壁又はこれらに類するものを有し、サイロとして使用されていなくても税金がかかるから屋根に手を加えてしまうのだと思います。浦幌町にもサイロがあちらこちらと見かける事が出来ます。もし今現在使用されていないサイロがあるのでしたら、税金を半額、又免除など出来ないものでしょうか？

町長さま、町議さま方々に本当にお願いしたく思います。

浦幌町のため、北海道のためにも、この素晴らしい農村風景のためにもよろしく願います。

(町民課)

コラムひとこと

小鳥

電線に止まっている数十羽のキレンジャクを見たのも、メジロやキツツキ、ツバメを見たのも母が生きていた十数年前の裏庭のこと。「あら、メジロがきてる」と母。

まさかと声上げて見たブルーノの木に目回り真っ白輪のメジロが止まっていた。メジロは鳴くことなくゆっくり去った。昨年移った町はずれの南町で目につくのはカラスばかり。先日は午後のこと、ふとベランダから見ると、K・10と11棟の間で何かの肉を裂いていたカラス。ツツジが咲きコブシが咲き、国道沿いの桜がいよいよ満開の支度をはじめたが、ここに小鳥はこないのだろうか。

南町で六ヶ月たった晩秋、セキレイを見たときはうれしかった。そしてこのセキレイ、網走で流水接岸の報道をしていた頃、日当たりよいベランダにきてコンクリートの上を歩いていったのだ、二月三日立春前に。地球環境が、生活環境がどう変わろうと小鳥の姿はうれしい。

キレンジャクよ、ヒレンジャクよ。ツバメよ。